

CONTENTS

- 01 ■女性職員のためのステップアップセミナー開催
- 02 ■部局長インタビュー（人文学部長、教育学部長、医学部長）
- 03 ■男女共同参画講義「人生100年時代のキャリアビジョン」を終えて
■オープンキャンパス参加報告
■【予告】男女共同参画セミナー開催のお知らせ
- 04 ■NEWS&TOPICS ■おひさま保育園 NEWS ■子育てコラムリレー

女性職員のためのステップアップセミナーが 開催されました！

講師

実践女子大学・実践女子短期大学部
学生総合支援センター キャリア学生支援課特任参与/
元理事・キャリアセンター部長
くしざき ふみこ
串崎 扶美子氏



令和元年8月21日(水)、松本キャンパス旭会館大会議室において、「女性職員のためのステップアップセミナー」が開催されました。セミナーの講師には、実践女子大学・実践女子短期大学部で管理職・理事職を歴任され、現在も同大学の学生総合支援センター特任参与として活躍されている串崎扶美子氏が招かれ、13名の女性事務職員が参加しました。

セミナーでは、串崎講師の進行のもと、「男女問わずリーダーの役割は何か」、「女性リーダーを取り巻く環境と課題は何か」、「女性リーダーだからこそ出来ることは何か」、「自身のステップアップのために組織に支援して欲しいことは何か」をテーマにしたグループワーク等があり、参加者同士で活発な意見交換が行われました。

また、グループワークの合間には、串崎講師ご自身が管理職をお引き受けになった当時の心境や、お仕事と子育てを両立された経験等、貴重なお話もいただきました。

受講者の声(アンケートから抜粋)

- ・講師のお話が大変面白く参考になった
- ・自分の迷いが少し軽くなった
- ・セミナー中で取り上げられた「サーバントリーダーシップ(奉仕型リーダーシップ)」の考え方がとても勉強になり、これからのリーダーには時代として必要とされている概念である。

人文学部長 教育学部長 医学部長 インタビュー

平成31年4月1日付で新しく人文学部長に就任された早坂先生、教育学部長に就任された宮崎先生、医学部長に就任された中山先生にそれぞれの部局での男女共同参画やこれからの課題について中島男女共同参画推進センター長がインタビューしました。

質問項目は次の2点です。

- Q1. 部局における男女共同参画の現状について
Q2. 今後の課題について

人文学部



はやさか としひろ
早坂 俊廣
人文学部長

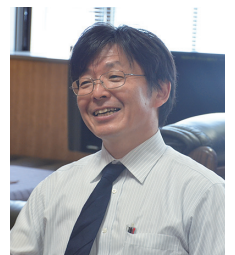
1 人文学部は女子学生が大体6割強くらいで、男子学生が4割くらいと、女子学生が多い学部です。また卒論の優秀賞やGPAによる学生の成績順などでは、大抵の場合、女子学生が上位に来ます。留学に出る学生についても、女性のほうが多い印象で女性が元気な学部だと言えると思います。女性教員の比率はちょうど2割くらいで、信州大学が掲げる目標には到達しています。人文系の場合、女性の研究者という問題の前に、ポスト自体が全国的にかなり急激に減ってきているので、研究者自体を育てていかないといけないという課題があります。本学部に博士課程はありませんが、どの大学ということではなく学会全体で若手の研究者を育てていき、その中で女性の比率が上がっていけばいいのではと考えています。学部生までは女性のほうが多いのですが、修士、博士になると、ちょっとどころではなく、どんどん減っていくという状況です。

2 4月から学部長の職に就きまして、執行部会議や教授会をとにかく早く済ませようと心掛けたのですが、議論が割れるような事案が多くあり、会議が早く終わるということとはなかなかないのが現状です。ただ、事務職員のほうでは、例えば定時に帰る曜日を決めて、実行しているようです。さらに、定時退庁する日をもう一日各自の裁量で設定してみてもどうか、などのアイデアが事務サイドから提案されていますので、「ワークライフバランス」の促進という観点から、ぜひ実現したいと考えています。男性の中には子どもの迎えや、風呂に入れないといけなから6時には帰りますと申告してくださる教員もいます。私のような世代とは違って、好ましい方向性だと思います。そういう申し出があったときには、もう全然問題ないので、会議が続いていても退出していただいています。職員の方はそれが言い出しにくいところがあるかもしれません。

1 教育学部では、女性教員の採用に積極的に取り組んでいますが、もっと女性のスタッフが必要と常々考えています（令和元年5月1日現在、女性教員比率21.3%）。教育学部には女子学生が多いですし、先進国の学校、特に小学校は女性の職場です。日本でも今後そうなっていきますから、もっと女性のスタッフに活躍していただく必要がでてきます。また、長野と松本にある6つの附属学校園（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）が、小さな子どものいる女性の先生にとってハードルの高い職場になっていますので、長野県教育委員会と協力しながら少しずつ改善したいと考えています。附属学校園への赴任時期は、30代後半から40代前半が多いのですが、そのキャリアパスに、ちょうど結婚・出産・育児が重なります。今後、保育園や幼稚園の送り迎えなどを誰もが気兼ねなく自然にできるようにしたいものです。

2 世代を問わず、特に男性の意識改革がまだ足りていないと思いますので、今後も意識改革を進めていきたいですね。家庭だけの責任ではなく、職場の仕組みや、支え合いが大切です。このことを、学校現場では、よく「同僚性」と呼びます。学校の現場では当たり前のように、弱い立場にいる人を余裕がある人が支えて、みんなで前に進もうとします。毎日ひとつの職員室に集まって、家族のように過ごしているからできるのかもしれませんが。このような「同僚性」が大学にも必要になってきているのではないかと思います。例えば、イギリスで教育を主目的とするある大学の場合ですと、大きな教員室とミーティングルームがあるだけです。日本の大学では、教員の置かれている環境が、同僚性という支え合いの構造を弱らせているように感じます。

教育学部



みやざき みきお
宮崎 樹夫
教育学部長

医学部



なかやま じゅん
中山 淳
医学部長

1 医学部の教員を採用する際には、業績が一番の評価対象となるので性別のみで優先的に採用することはありませんが、医学・医療分野において指導的立場にある女性の比率がもっと上がらなければ、日本の医学・医療の発展は厳しいのではと危惧していますので、募集要項には「女性教員比率向上のためのポジティブアクション」を明記してあります。医学部、特に医学科はまだまだ女性教員の少ない学部であることは確かです。しかし、最近、女性の教授が3名選出され、活躍しています。現在、医学科における女性教員の比率は20%と十分ではありませんが、女子学生にとって教育、研究、診療で活躍しておられる女性教員は良いロールモデルになっていると思います。一方、保健学科は男性57%、女性43%であり、医学科と比較すると女性教員の比率は高いですが、それぞれ50%がちょうど良い比率だと思っておりますので、まだ足りてはいません。

2 法人化に伴う人件費削減に始まり、限られた人員の中で一層高まる社会のニーズに応えていかなければならないという状況です。ですので、業務を取捨選択していかなければなりません。やらなくて良いことなどももちろんなのですが、優先順位をつけるということですね。会議をなるべく減らし、メール審議で済むならそうします。4月に就任したばかりですので、まだこれからというところではありますが、会議等で時間をとられるのではなく、本務にしっかり時間をかけてもらえるように変えていきたいと考えています。男女共同参画の観点から改善すべき点としては、例えば男性の育児休業がまだまだ取りにくい状況があるかと思うので、全体の意識を変えていく必要があるかと思っています。働いている方たちの生の声を拾い上げて改善していくということは、医学部だけでなく大学全体としても非常に重要だと考えています。

男女共同参画推進センター運営委員会主催講義 「人生100年時代のキャリアビジョン」を終えて



第12回 坂口けさみ信州大学名誉教授の講義の様子

前期水曜5限「人生100年時代のキャリアビジョン」が全15回の講義を終えました。今年度は12名の講師が講義を担当し、35名の学生が様々な視点から、多様な働き方・生き方について学びました。講義全15回を通して多様な“もの・コト”に対する柔軟な思考・対応ができる知識を身につけられたのではないのでしょうか。

受講生の感想

- 毎回新しいことを学ぶことができ、授業を履修して本当に良かった。中学や高校ではなかった、大学生ならではの学びが出来たのではないかと思います。
- この講義を通じて、いろいろな専門の視覚から世界の多様性を見たり、考えたりして、とても興味深かった。
- 家事分担について、共働きでも女性のほうが負担が大きいのは改善するべきだと思った。

全学部のオープンキャンパスでパネル展示を実施しました

男女共同参画推進センターでは今年度も全学部のオープンキャンパスにおいて、男女共同参画のパネル展示を実施しました。今年度は男女共同参画推進センター主催の講義と、研究補助者制度の紹介パネルに加え、新たに学長、学部長からの受験生・学生に向けたメッセージのパネルを掲示しました。



パネルは男女共同参画推進センターのホームページの「刊行物・資料」からご覧いただけます。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/article/index.html>

予告 男女共同参画セミナー開催のお知らせ



おおさき あさき
大崎 麻子氏

12月16日(月)に、男女共同参画セミナーを開催します。今年度のテーマは「女性管理職」で、女性の活躍が求められる昨今、女性だけでなく、女性を部下にもつ男性職員も必聴の内容となっております。ぜひご参加ください。

- 開催日時** 令和元年12月16日(月) 13時～14時30分
会場 信州大学松本キャンパス旭会館3階大会議室
 各キャンパスおよび高等教育コンソーシアム信州加盟大学へ遠隔配信予定
講師 大崎 麻子氏(国際協力・ジェンダー専門家/関西学院大学客員教授)
参加費 無料
対象 大学教職員、学生および一般の方

申込方法等詳細は、決まり次第、男女共同参画推進センターのウェブサイトに掲載します。

令和元年度(10-3月期)研究補助者制度の利用者が決定しました

本学の研究者が育児や介護等のライフイベントと研究活動を両立できるよう、令和元年度(10-3月期)も研究補助者制度の利用者を募集し、厳正な審査の上、利用者を決定しました。

選考結果 利用者13名(女性11名、男性2名)

この制度は年2回の募集を行っています。次回の募集は2020年1月中旬ごろを予定しています。なお、急遽介護が必要になった場合など突発的な事態が生じた場合は、申請時期でなくても受付できますので、まずは男女共同参画推進センターまでご相談ください。

ベビーシッター派遣事業割引券の配付を開始しました

令和元年度のベビーシッター派遣事業割引券の配付を開始しました。これまでは利用枚数が1家庭1日(回)につき1枚でしたが、今年度から1日(回)対象児童1人につき1枚に変更になりました。割引券1枚につき2,200円の割引金額に変更はありません。

長野県内でベビーシッター派遣事業割引券が利用できるシッター会社

- アリスチャイルドメイド
(長野市、登録料5,000円、年会費無料 TEL:026-269-8320)
- マザーネット
(松本市他、長野県内在住のシッターが20名程度在籍しています(2019年7月現在)。登録料、年会費無料 TEL:0266-52-2228)

割引券利用の際は、シッター会社と利用契約を結ぶ必要があります。また料金やシッターの対応市町村等詳細はシッター会社へ直接お問い合わせください。
利用をご希望の教職員は、申込書に必要事項を記入のうえ、男女共同参画推進センターまでお申込みください。

詳しくはこちら <http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/support/babysitter.html>

おひさま保育園 NEWS

長い梅雨が明け、おひさま保育園の園児たちもプール遊びを楽しんでいます。この日(7月30日)はまぶしい太陽の下で元気いっぱい水遊びをしていました！水遊び、気持ちよさそう！



鈴木 真依子 先生 | 医学部附属病院 麻酔科蘇生科 医師

子育てコラムリレー Column Relay 第14回

このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

我が家は共働きのため、平日は保育園に子供を預けています。保育園に朝子供を預けに行く際は夫と2人で行くことが多く、朝保育園に子供を預けるという一日のはじまりの一大イベントに大人の手が二人分あるのでとても助かっています。



小さい頃はおっとりめだった長男も3歳になり、体を動かしたり、外での遊びを好むようになりました。昔からは想像もつかないくらい活動的になり、子供の成長はあっという間だということを実感しています。この前生まれたばかりと思っていた次男もすくすく成長し、早半年が過ぎました。いつの間にか4人家族になり、毎日慌ただしいですが、日々の成長をちゃんと覚えておきたいと思うこの頃です。

仕事をしながらの子育てでは時間に追われることも



家族構成

夫、長男(3歳)、次男(6か月)

あなたのリラックス方法は？

美容院に行くこと

多く、余裕がなくなることも多々ありますが、職場の同僚や祖父母、保育園の先生に感謝しつつ、一緒に子育てを一番長くしている夫と協力しながらこれからの子育てを楽しんでいけたらと思います。



次回はコチラ

佐藤 幸一先生
医学部附属病院 内科 医師



お問い合わせ
信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室
〒380-8544
長野市西長野 6-口
内線 831-4018

工学部分室
〒380-8533
長野市若里 4-1-1
内線 821-5693

農学部分室
〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120

繊維学部分室
〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5031

信州大学 スフレ

検索